



特別展
虎屋のお雛様

Splendid Hina Miniatures
Doll Festival Dolls from the Toraya Collection

2012年2月25日[土]~4月8日[日]

[休館日] 月曜日



雛段飾り

《特別展》「虎屋のお雛様」 展示室1

根津美術館では、2012年2月25日[土]から4月8日[日]まで、特別展「虎屋のお雛様」展を開催します。本展は2001年に、約60年ぶりに公開されるや一躍話題となった和菓子の老舗「虎屋」に伝わるお雛様と極小雛道具の優品約270点を、2006年の根津美術館の展示を経て6年ぶりに展示いたします。

室町時代後期に京都で創業された虎屋。お雛様と雛道具は、14代店主・黒川光景くろかわみつかげが、明治30年(1897)に生まれた愛娘のために調えたものです。雛人形は、典型的な京雛きょうびなで、きらびやかな天冠てんかんや装束と端正な面差しが雅やかな作品です。京都の老舗人形店、丸平大木人形店まるへいおおきにんぎょうてんで調えられました。300点余りにもおよぶ雛道具の多くは、極めて小さいにもかかわらず細部にまで美しい牡丹唐草文の蒔絵がほどこされています。これらは、江戸時代、高級雛道具の名店として知られた江戸・池之端いけのきの七澤屋製ななさわやとされます。その他、人形界で初めて人間国宝となった二代平田郷陽作ひらたごうようの市松人形いちまつにんぎょうや、珍しい銀製雛道具など見逃せない作品もある、雛道具の一大コレクションとなっています。春の訪れを祝い、女子の健やかな成長を願う「お雛様」が華やかに展示室をいろどります。

雛人形



だいらひな
内裏雛 丸平大木人形店製 明治時代中期 19世紀

きらびやかな天冠と装束をつけた典型的な京雛である。柔和で高貴な風貌が美しい。京都の名店で調えられた作品。



市松人形 二代平田郷陽作 昭和時代 20世紀

人形界ではじめて人間国宝となった二代平田郷陽の昭和初期の作品。丸平大木人形店で詠えた衣装も美しい。

極小雛道具

極小雛道具の名品。いずれも極めて小さく、牡丹唐草の蒔絵など、どれも細部まで忠実に再現されている。



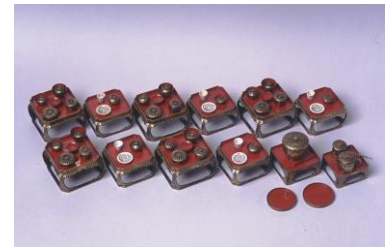
ほたんからくさまんさんたな
牡丹唐草文三棚 七澤屋製
江戸時代 19世紀

棚の中に収める道具類も完備している。左から黒棚・厨子棚・書棚で、「三棚」とよばれる大名の婚礼調度のひとつである。



ほたんからくさまんかこ
牡丹唐草文駕籠 七澤屋製
江戸時代 19世紀

駕籠の細部まで忠実に再現されている。雛道具は、大名の婚礼調度をミニチュアにしたものが多いのが特徴である。



ほたんからくさまんかけばんぜん
牡丹唐草文懸盤膳 七澤屋製
江戸時代 19世紀

江戸時代の武家の作法による「本膳料理」にちなんだ豪華な膳のセット。雛道具で、一の膳のほかに二の膳まで付いている例は珍しい。

会期中は、根津美術館ミュージアムショップにて、虎屋の雛祭り限定お菓子を販売します。



雛衣

美しい5色が、お雛様のあでやかな装束を思わせる、雛の節句にちなんだ愛らしい羊羹です。



雛折

緑の煉羊羹の上に道明寺羹をかさね、表面に桜の花と花びら、橘の実と葉を意匠化した雛菓子です。

[関連情報]

講演会 1 《雛祭りのお菓子》

日時 2012年3月3日 [土] 午後2時から午後3時30分
講演 中山 圭子氏 (虎屋文庫 研究主幹)

講演会 2 《「ちひさきもの」の美 - 虎屋黒川家の雛と雛道具(仮)》

日時 2012年3月17日 [土] 午後2時から午後3時30分
講演 小林すみ江氏 (吉徳資料室長・日本人形玩具学会代表委員)
場所はいずれも根津美術館 講堂、定員 140名

〈申し込み方法〉 往復はがきに、希望する「講演会1」または「講演会2」、住所、氏名(返信面にも)電話番号を明記の上〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館『虎屋のお雛様』宛にお申込み下さい。
「講演会1」は2012年2月18日 [土]、「講演会2」は3月3日 [土] 締切(当日消印有効)
※参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。
※聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

◆ギャラリートーク

2012年3月9日 [金]、3月23日 [金]

※いずれも午後1時30分より約45分間イヤホンガイドを使って行います。
※当日先着30名様に限らせていただきます。
※午後1時よりホールにて整理券を配布します。
※参加は無料ですが、入館料をお支払いください。

— 同時開催 — 《テーマ展示》

展示室 2「根津美術館の近代日本画」



しのぼすのほす かれののぼくどう わたなべせいでい
不 忍 蓮・枯野牧童 渡辺省亭筆 2幅 絹本着色

明治時代 19世紀 根津美術館蔵

根津美術館に近代絵画が所蔵されていることはあまり知られていません。初代根津嘉一郎が贈答用に購入したと思われるものと、コレクターから他の古美術品とともに寄贈されたものが合わせて、約30点あり、今回そのほぼ半数を初公開します。多様な根津美術館のコレクションの一面をご覧ください。

展示室 5「酒器」



粉引徳利 朝鮮時代 16世紀 根津美術館蔵
絵唐津盃 肥前 江戸時代 17世紀 根津美術館蔵

新年にふさわしい華やかで、温かみのある酒器をそろえました。粉引徳利は、酒の温もりをほんのりと手に伝え、絵唐津の盃を手にとると文様が揺らぎます。

展示室 6「花月の茶」



せとかたつきちやいれ ゆきやなぎ
瀬戸肩衝茶入 銘 雪柳

桃山～江戸時代 16～17世紀 根津美術館蔵

三月は花月とも呼ばれ、新芽や開花とともに自然が華やいでゆく季節です。芽吹く柳、咲き乱れる花や蝶など、春の自然をテーマにした茶道具約20点を展観します。

【開催概要】

- 【展覧会名】 特別展「虎屋のお雛様」
【主催】 根津美術館
【協力】 株式会社 虎屋
【開館期間】 2012年2月25日〔土〕～4月8日〔日〕
【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]
【休館日】 毎週月曜日
【入館料】 一般1200円 学生1000円
* 20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き
* 中学生以下は無料
【前売券】 一般1100円 学生900円
*2012年1月7日〔土〕～2月12日〔日〕コレクション展「百椿図」開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売
【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車
A5出口（階段）より徒歩8分、B4出口（階段とエスカレータ）より徒歩10分、B3出口（エレベーターまたはエスカレータ）より徒歩10分
【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号
【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536（代表）
【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp>
【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp>
*携帯サイトは、機種により閲覧できない機能があります。
【専用アプリ】 「App Store」・「Android マーケット」から [根津美術館](#) を [検索](#)

＜次回展＞

特別展 KORIN 展

— 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」—

2012年4月21日(土) - 5月20日(日)

ついに来春、尾形光琳が10数年の時をへだてて描いた2つの金屏風がおおよそ100年ぶりに再会します。



【最新情報】

— 手のなかに古美術の愉しさを —

根津美術館「web アプリ」がスタートしました

根津美術館が所蔵する日本・東洋の古美術作品や、ギャラリー、庭園など、その魅力を国内外に広く伝えるため、スマートフォン、タブレット端末、携帯電話に対応した根津美術館「web アプリ」を日本語・英語同時にスタートしました。日本美術のビギナーから愛好家まで、幅広い層の方々へ、古美術の愉しさを発信します。いずれも無料。

「App Store」・「Android マーケット」から [根津美術館](#) を [検索](#)
または携帯より [<http://www.nezu-muse-app.jp>] にアクセス



第2回「はじめての茶席 — 雛まつりの席 —」2012年3月8日〔木〕開催

2012年1/7より販売開始

この秋、好評をいただいた「はじめての茶席 — 秋を楽しむ —」の第2弾として、明年「虎屋のお雛様」会期中の3月8日〔木〕、「はじめての茶席 — 雛まつりの席 —」を開催します。この茶会では展示とあわせ虎屋のお菓子を一緒にお楽しみいただきます。参加券の販売は「百椿図 — 椿をめぐる文雅の世界 —」会期初日2012年1月7日〔土〕より、美術館受付にて販売。定員になり次第終了となります。

＜リリース・広報のお問い合わせ＞

担当: 鎌倉/羽田/白原

TEL 03-3400-2538 広報(直) FAX 03-3400-2436 MAIL: press@nezu-muse.or.jp